

くましん の現況

熊谷商工信用組合 DISCLOSURE 2017

Contents

- 01 ごあいさつ
- 02 経営戦略書 ～くましん 5か年プロジェクト～
- 03 総代会
- 04 報酬体系について
- 06 熊谷の誇る伝統工芸品「熊谷染」の歴史と今
- 08 地域貢献活動
 - くましん立正大学ジョイントカルチャー教室
 - クリスマスコンサート
 - 熊谷うちわ祭り
 - 第67回熊谷花火大会
 - 寄居北條まつり
 - 寄居ふるさとの祭典市
 - 環境保全活動
 - 熊谷めめま駅伝大会
 - 妻沼聖天山節分会
 - 事業承継セミナー
 - くましんの寄付金贈呈をご報告いたします
 - 献血運動
 - くましんロビー展
- 18 基本方針
- 23 健全性への取り組み
- 32 事業の組織
- 34 資料編
 - 商品・サービスのご案内
 - 手数料一覧
 - ディスクロージャー項目と掲載頁
 - ネットワーク

組合概要

名 称	熊谷商工信用組合(略称：くましん)
設 立	昭和28年3月
本店所在地	熊谷市本町二丁目57番地
預金残高	87,461百万円
貸出金残高	32,531百万円

自己資本額	3,564百万円
自己資本比率	9.33% (国内基準4.00%以上)
組合員数	26,464名
店舗数	9店
常勤役員数	91名

(平成29年3月31日現在)



ごあいさつ

皆様には、平素より私ども「熊谷商工信用組合（くましん）」に格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

当組合は、創業以来埼玉県北地域のコミュニティバンクとして地域の皆様と共に歩み、今日の経営基盤を築いて参りました。より多くの皆様に当組合の経営内容や営業実績等をご覧頂き、「くましん」をより一層ご理解頂けるよう、今年度もディスクロージャー誌を作成致しました。

平成28年度の我が国経済を振り返りますと、雇用・所得環境の改善や年後半には海外経済の回復を背景に輸出の持ち直しや企業収益の改善などにより、景気は緩やかな回復基調で推移して参りました。一方、地域経済では少子高齢化の

進展や人口減少に伴う市場の縮小を背景に個人消費の低迷、慢性的な人手不足や人件費の上昇、農水産物の価格高騰などが足かせとなり、景気回復の実感が得られない厳しい状況が継続し、金融業界でも日銀主導のマイナス金利政策が継続されるなか、資金供給過剰が続いており、先行きの不透明感は拭いきれない状況です。そのような逆境にあっても、当組合は「地域への貢献」「お客様第一主義」を経営理念とし、積極的に企業経営を支援して参りました。

平成28年度決算につきましては、貸出金期中平均残高が1,342百万円増加いたしました。市場金利の低下による貸出金利回りの低下が影響して貸出金利息収入は前期比9百万円減少の1,051百万円となりました。また、預け金利息、有価証券利息配当金等は合計で前期比47百万円減少の322百万円となりました。しかし預金利息の減少、国債等債券売却益の計上等で、業務純益は126百万円となり、前期比50百万円の増加となりました。しかしながら当期純利益につきましては、貸倒引当金や睡眠預金支払い引当金の繰入が影響し、前期比48百万円減少の54百万円に留まり、総じて大変厳しい決算となりました。平成29年度も金融環境は更に厳しいものになると予想しておりますが、従来にも増して収益性、健全性の高い経営を目指し邁進して参る所存であります。

当組合は長年に亘りお客様のご愛顧ご支援を賜り、安定した発展を遂げることができておりますが、地域経済を取り巻く環境は更に厳しいものとなる見込みであり、この激変の中くましんだけが変化しなくていいと言う訳にはいきません。「変えてはいけないものは、愚直に継続。変えなくてはいけないものは、勇気をもって改革。」収益力の強化を目指した新しいビジネスモデルの実現を目指して参ります。引続きのご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

熊谷商工信用組合 理事長 **吉田 豊**